



男女共同参画推進委員会

ーリリー・エッセイー

第138回

今回は、市内で診療所を開業し地域医療に従事している原田あやこさんです。

だれもが輝ける時代へ

「仕事も職場も人生も」

あやこまじこ診療所院長

原田 あやこ



現在私は安中市磯部にある診療所の院長をしております。2017年に開業し、現在スタッフは私を含めて10名(女性9名、男性1名)で一般内科・糖尿病内科を中心に、日々楽しく地域医療に奮闘しております。

さて「男女共同参画」について、「医師」の立場からみると、現在我が国の「医師」の男女比は約8対2であり、私を含め女性医師はまだ少数派です。年次的には、1990年あたりから女性医師の割合は少ないながらも右肩上がりで増えておりますが、それでも圧倒的に男性医師が多いのが現状です。

私が医師になりたての20年以上前は、女性医師の割合が今よりもっと低く全医師に対して1割強でした。研修医時代は衝撃的な壁を感じたことも多々、「女医さんは嫌!」と診察させて頂けないこともありましたが、診察室に入るや否や「医者が女性? 帰る!」と踵を返されたこともありましたが、正直困惑しました。だって性別を変えることはできませんから。それでも「女性医師が

良い、女性医師でも良い、診て貰いたい」と思ってくださる方もきつというらしやらず、頑張ろう!と私は全くめげませんでした。医師が女性であろうと男性であろうと、技術面・知識面に関して優劣はないと思っておりますし、大切なのは患者さんへの思いやり・情熱ではないでしょうか。書いていてそんな若かりし時代が懐かしいです。今でも女性医師は少数派ですが、今後市民権をどんどん得ていくと思っております。後輩女性医師達を心から応援したいです。

また、「看護師」に関しては、「医師」とは逆転し女性が9割以上を占めているのが現状ですが、厚労省の調査によると男性看護師が2018年より2倍増えているということなんです。職業のジェンダーレス化が進む中、今後も男性看護師の割合も増えていくのではないのでしょうか。彼らが活躍できる場面はとも沢山あると思いますし、体力がある男性が求められることも多いと感じています。私自身も男性女性問わず、看護師をとっても頼りにしていますし、大切な存在です。

男性であろうと女性であろうと、性別関係なく誰もが豊かで輝ける人生が送れる、夢や希望が実現できる世の中であって欲しいし、私自身も努力したいと思っています。

当診療所は、群馬県いきいきGカンパニーワールド認証を取得しており、男性、女性を問わずすべてのスタッフが働きやすい職場環境づくりを心がけており、地域に笑顔、経済に活力を与えることを目的として日々尽力しています。

問合せ▶困地域創造課市民協働係(☎内線1027)

安中市消費生活センターからのお知らせ

本当にお得? 注文確定の前に

契約内容をしっかり確認

【事例】

SNS上に通常約6,000円のシャンプーが初回500円で購入できるとの広告があり、クレジットカード決済で注文した。商品を確認するため、再度同じ広告を見たところ、注文を確定する画面の上方に、細かい文字で「5回継続購入」の記載が一部分だけ見えていた。画面をスクロールしなければ全体が表示されず、前回は気が付かなかった。事業者に解約したいと伝えたが「5回継続購入の条件は明記されている」と言われ断られた。



(本文イラスト: 黒崎 玄)

【ポイントと助言】

- ★ ネット通販の注文画面では「初回限定」などとお得感を強調した表示に比べ、購入条件が小さく表示されていたり、気付きにくい場所に表示されていたりして、わかりづらいことがあります。画面の隅々まで見るなど注意が必要です。
- ★ 注文を確定する前に、定期購入が条件になっていないかを確認し、定期購入が条件の場合、継続期間や支払うことになる総額など契約内容もしっかり確認しましょう。
- ★ 特定商取引法が改正され、事業者は最終確認画面で、注文内容を明確に表示しなければならなくなりました。誤認させる表示により消費者が申し込みをした場合は、契約を取り消せる可能性があります。

(国民生活センター「見守り新鮮情報」第425号から作成)

【問合せ】 わからないことや困ったこと、少しでも不審に感じるものがあつたら、早めに市消費生活センターにご相談ください。

相談日時▶月々金曜日(祝日を除く)午前9時~午後4時30分 (☎3821-2228)